

カリキュラム

【教育目的】 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【到達目的】

- 1 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。
- 2 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 3 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

教科目	単元	教育内容	授業時間	授業形態
ヘルスケアシステム論Ⅲ	社会保障制度政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の将来ビジョン ・ グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHO の活動、国連 SDGs 等 	6	講義
	看護制度・政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護制度の変遷と政策 ・ 看護政策に関する審議会・検討会 ・ 制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・ 看護戦略とパワーの活用 ・ 職能団体による政策への影響力 	6	講義
	ヘルスケアサービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスケアサービスのマーケティング ・ 社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） ・ NGO、NPO のヘルスケアサービス ・ 地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・ 在宅におけるヘルスケアサービス ・ ヘルスケアサービスのシステム構築 ・ 看護事業の開発と起業 ・ テクノロジーの活用 	18	講義
組織管理論Ⅲ	組織デザインと組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織のデザイン ・ 組織間ネットワークのデザイン ・ 地域連携ネットワークのデザイン ・ ダイバーシティ ・ 組織運営に必要な能力 ・ 経営者に求められる役割と必要な能力 ・ 組織戦略とパワーの活用 ・ 経営者としての成長と熟練 	24	講義
	組織における倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織における倫理的課題 ・ 倫理的課題に対する組織的対応 	6	講義
人材管理Ⅲ	社会システムと労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃金制度 ・ 人事考課 ・ 能力評価のためのシステムの構築 ・ 労働関係法規の最新の動向 ・ 建設的な労使関係の構築 ・ 人材フローのマネジメント ・ ハラスメントの組織的対応 	12	講義
	看護管理者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護管理者の能力開発、活用 	6	講義
資源管理Ⅲ	経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療経営の特徴と課題 ・ 医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題 ・ 戦略策定 	15	講義
	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務会計 ・ 管理会計 ・ 資金管理 	9	講義
	組織的情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連法規の遵守 ・ 地域における情報共有・活用 	6	講義
質管理Ⅲ	経営と質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンスとアカウンタビリティ ・ 第三者評価 ・ 医療・看護の質とデータ活用 	12	講義
	組織の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全文化の醸成 ・ 医療事故防止のための組織的対策 ・ 危機管理 	18	講義
統合演習Ⅲ	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する。 例 1：自組織について分析し、トップとして組織の改善計画を立案する。 例 2：保健医療福祉や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データを分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。 例 3：保健医療福祉に関する政策提言を行う。 	39	演習
	実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する。シャドーウイング等 	9	実習/ 報告会

ヘルスケアシステム論Ⅲ	30 時間
組織管理論Ⅲ	30 時間
人材管理論Ⅲ	18 時間
資源管理Ⅲ	30 時間
質管理Ⅲ	30 時間
統合演習Ⅲ	48 時間
総時間	186 時間